

情けは人の為ならず

2月2日(木)、北越ホールでJICA(国際協力機構)の宍戸健一さんから講演をしていただいた。まず聞こう。今回の講演のキーワードは何だったと思う？
スーダン？ 途上国支援？ 紛争解決？ ……違うよね。

人はどうやって生きていくのか。国はどうやって国としてやっていけるのか。宍戸さんの話はそこにはっきりと焦点があっていたと思う。

VTRの中で、池上彰さんが「日本では国の予算が足りないとして問題になっているのに、なぜ遠いアフリカに援助をするのですか」と宍戸さんを問い詰めた場面があった。

「国は他の国とつながって初めて安定した国家となる。日本とスーダンは貿易上、経済上、深くつながっている。スーダンが安定した国になるということは、日本の安定にもつながる。

日本は太平洋戦争後、世界から支援を受けて復興した。今、援助を求めている地域に力を貸すことは、そのお返しでもあるし、世界がより深くつながりあうことにもなる。」

宍戸さんは、そう話して、80人の日本人がこの紛争地域で平和づくりに尽力していることの意義を説明してくれた。

特に興味深かったのが、職業訓練プロジェクトの取組だ。戦争が終わっても、働く場も技術もない。なぜなら、スーダンの男たちは、長い内戦により教育を知らず、銃器の扱っただけはうまくても平和な世の中で生きていくための知識も技術もないからだ。JICAの人が雇いたくてもドライバーすらいない。結局、隣国からの出稼ぎ労働者を雇うことになるという。ここに、戦争が終結しても、そのうちの5割は5年以内にまた戦闘が始まる、という悲惨な事実の端緒があるように思った。

だからこそ、日本が単に港湾施設を作るといような従来型の支援だけではなく、技術を育て、行政や教育の仕組みを作り、国の「人づくり」を支援しているのは、その国の平和を「作っている」ことなのだ。「人づくり」による「平和づくり」。JICAの活動を誇りに思う。

そして、職業や文化とは「土壌」がなければ、そこには存在しないものなんだと、深く考えさせられた。平和とは結果ではなく、すべての文化的、創造的活動の「土壌」だ。僕らは土から生え、育ち、実を实らせる物に目が行きがちだが、それを育てる「土壌」にもっと目を向けてもいいのだと思う。そして、僕らの「土壌」は、同じ地球の他の「土壌」の安定があって、初めて素晴らしい文化や成果を生むのだ。

情けは人の為ならず。

宍戸さん、どうもありがとうございました。きっと、聞いていた北越高校1年生の中から、宍戸さんのように世界とつながる「人づくり」「平和づくり」をする人材が生まれますよ。



やっと給水所で水をもらったスーダン難民の子供たち

☆冬期間の登校について

最近の大雪もあり、交通機関に乱れが生じることが多くなっています。

JRは列車が遅れた場合、遅延証明書を発行してくれますが、学校ではそれを持っているだけでは公欠扱いにしないのでご注意ください。

冬の新潟は交通機関が乱れるのが当たり前です。夏期と同じ列車に乗って「交通機関の遅れです」と言ってもそれは認められません。遅れを見越していつもより数本早い電車やバスに乗るよう、ご家庭でもご指導ください。

◎セカンドホーム訪問

男子バドミントン部

- ①部員数 1年6名 2年7名
- ②目標 インターハイ ベスト8！！
- ③活動内容およびPR

平日の月・水・金はノックやダブルスの練習、火・木はノックやシングルの練習。

休日は主にパターン練習。ランニングから始まり、ストレッチ、基本、ノックをしています。月に一度インドネシアから来ているコーチから練習してもらい、日々の練習を頑張っています。

- ④がんばっている人

今、一番頑張っているのは、長野から来ている柳澤です。ランニングでは、最初から最後まで全力で走り、ノックでは、スピードをあげてミスも少なくなるように努力しています。人一倍、仕事をしたり片付けをしています。

女子バドミントン部

- ①部員数 1年10名 2年7名
- ②目標 団体・個人ともに県大会出場！！
- ③活動内容およびPR

主に基礎～応用までの練習をしています。全ての練習メニューで一人一人が集中し、真剣に取り組んでいます。目標達成を目指し、日々努力を積み重ねています。

- ④がんばっている人

6組の西條ひとみさんです。1年生ながらレギュラー入りし、チームの勝利に貢献しているからです。普段の練習でも手を抜かず、先輩に負けない気迫を持っています。また、西條さんだけでなく、1年生全員が目標に向けて日々の練習を頑張っています。

☆ 今後の予定

- 4日(土) 土曜講座
- 6日(月)～8日(水) スポーツコース 専攻体育スキー実習
- 9日(木) 服装頭髪検査
- 10日(金) 入試のため休校
- 11日(土・祝) 建国記念日・土曜講座